学校関係者評価報告書

東予高等学校 学校番号(

評 価 実 施 日		令和6年3月4日(月)	
委員	役	: 職 備 老	ź.
	学校詞	評議員 5名	
	学校	関係者評価委員 3名	

1 今年度の評価について

(1) 学習指導

授業のプリントや電子黒板の工夫がなされてい て、生徒に興味や関心を持たせる努力と熱意を感 じる。生徒1人1人PCを活用し、ICT教育に力を 入れている。教える工夫を凝らし、「分かる授業」 に努めている様子がわかる。

・引き続き、生徒の学習状況や理解度を的確に 把握し、分かる授業の実践に努めるとともに、多 様な生徒に応じた学習方法の構築に努める。

提言等に対する改善方策等

(2) 生徒指導

校外での交通マナーについて、気持ちよく守れ ている生徒が多い。基本的生活習慣やルールを 守る態度を身に付ける指導は、今後も力を入れて 継続してほしい。

中には奇抜な頭髪の生徒も見受けられるが、校 則を自分たちで決められる場を設けてはどうかと 考える。

・年に2回の生徒総会において、生徒は要望事 項を出すことができる。高校生としての自律心を 養うため、自分たちのルールをしっかりと考える 場を設けたい。

(3) 進路指導

がえる。一人一人に応じた資料提供や相談活動 が充実しているように感じる。ただし、過去の卒業 生も大半が4~5年で転職している。このような事 がないように、就業先に対し内情を引き出し生涯 の仕事に就けるようお願いしたい。

全体的によく努力、工夫をされている様子がうか・早期離職や転職をする卒業生が増えないよ う、就職する企業の情報をしっかりと理解させる よう努める。

(4) 特活指導

特別活動に対して、生徒全員が意識して参加し ている。限られた人数でよく努力しているように思

部活動に対しては、熱心でスポーツも工業系の 大会も成果を確実に残している。生徒たちが先生 方の指導のもと、目標を定めて日々努力している ことは望ましい。

・県教育委員会が進めている部活動改革に則 り、入学した生徒が満足する形で3年間の部活 動に取り組めるように考慮しながら、部の統廃合 や合同部活動に取り組む。

(5) その他

すべてのことを100%やりきることは難しいと思う ので、これだけは全員(教師、生徒)の共通認識 のもと取り組んでほしい。

1 重点目標について

「思いやりの心」「たくましく生きる力」は基本的な |・態度教育、心の教育は日々の生活の根幹を 精神面の重要な目標である。重点目標は人間としなすものであり、これからも全教職員総がかりで て生きていく上での一番大切なところである。卒業 取り組む。 後も、社会に出て必要なことであるので、引き続き 目標に沿った生徒指導をお願いしたい。

3 説明・公表について

学校へ行く機会がほとんどない中で、図書館 報、保健だより他、各種のたよりを読むと、各種活 動の様子がよく分かった。子どもたちが、元気で、 楽しく学校生活を送っている様子が伝わってき

ホームページは学校の情報発信源である。今後 も内容を充実させて地域への発信をしていただき たい。

もっと積極的にマスコミやケーブルテレビを使っ て地域にアピールしてもらってもいいのではない カシ。

4 学校運営への提言

コロナ禍での生活がやや通常に戻りつつある。 まだ今後もコロナ対策は注意しつつ、意見交換の 場を設けて、風通しのよい学校運営の実践をお願 いしたい。

地域は少子高齢化の進展により、自治体や団体 だけでは今までやれていた行事、事業ができなく なっている。地域は若い力を求めている。学校は 技術、知識、人材をどのように提携していくか工夫 をして、地域に開かれた学校づくりをしてほしい。

また、外部の意見をとり入れるなら、学校評議員 が行事参加できる行事を引き続き多く設けていた だきたい。

最近の生徒は図書館で本を借りて読むという習 慣が身に付いてないのでしかたないが、東高ライ ブラリーニュースや本に親しむ機会を増やし、図 書室の魅力度アップにつなげてみてはどうか。

・積極的な情報交換により、互いに支えあう雰 囲気を醸成させる。

・保護者や地域の方々に生徒の活動を知って もらうための方策を研究し、利用できる媒体を積 |極的に利用し、情報発信に努める。

- ・来年度も地域へ出向き、地域住民の方と協力 して、できる活動を続けて行く。
- |・保護者や学校評議員参観の機会充実を図り、 開かれた学校づくりを目指す。
- ・東高ライブラリーニュースや図書館報等の刊 行物を効果的に用いて、読書の効果を丁寧に 説明し、図書室の積極的な利用を促す。